# 情報発信のあり方等に関する検討会第4回説明資料

平成28年5月31日

一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会

## 1. リサイクル部品の利用の促進に向けた取組(日整連)

①日整連では、平成15年度、19年度及び24年度にユーザー説明用パンフレットをそれぞれ 10万部作成し、全整備事業場に配布して普及促進を図っている。 (19年度版、24年度版は日本自動車リサイクル部品協議会の協力により作成)

#### <ユーザー用パンフレット>

#### 平成15年度







#### 平成19年度







#### 平成24年度







#### ②各種会議等への参画

「自動車リサイクル部品活用推進会議」(国土交通省、経済産業省、環境省、日本自動車リサイクル部品協議会、日本損害保険協会、日本中古自動車販売協会連合会、日本自動車車体整備協同組合連合会、日本自動車整備振興会連合会)、「自動車補修用リサイクル部品の規格策定に関する研究会」、「自動車補修用リサイクル部品のラベリング規格に関するJIS開発 原案作成委員会」等に参画。

- ③整備事業者への情報提供
- ・ホームページ等での情報提供等 (関連団体等のホームページへのリンク含む)
- ④その他

関係省庁等で作成したポスター、チラシ等の事業者への展開。

## 2. リサイクル部品の利用の促進に向けた取組(事業者)

- ①自動車の整備時等における、ユーザーへのリサイクル部品の情報提供等
- ・自動車整備の部品交換時において、新品部品又はリサイクル部品の選択は、一般的にユーザーが行う。整備事業者はリサイクル部品に関する情報を提供し、ユーザーの判断を仰ぐ。

(ユーザーから修理費用を安くしたい等の相談を受けることから、リサイクル部品を使用した場合の見積書を提示。提示した部品の保証状況等も説明。)

- ・殆どの整備事業者は、複数のリサイクル部品入手ルートを確保している。
- 保険を使う場合は新品部品となるケースが多い。
- ・最近はユーザーもネット情報等でリサイクル部品についての情報を得ているようだ。 中には、インターネットオークションで入手した部品を持込むユーザーもいる。
- ②リサイクル部品の使用拡大に係る課題
- ・年式の新しい車両のリサイクル部品が在庫等少ない。
- ・その他ヒアリング結果参照。

### ③その他

・整備事業者は、道路運送車両法の認証に基づき事業活動を行っており、また、顧客も固定客が多いことから、事業は信用第一を旨としており、信用を失うような行為を望まない。したがって、自動車の整備をする際に部品交換が必要となった場合も、必要な情報の提供はするが、リサイクル部品か新品部品かの選択はユーザーの意向を尊重する。

## 3. 参考 リサイクル部品の検索システム

●日本自動車整備商工組合連合会(整商連)HP:http://www.jasca.or.jp/

#### ■【TRSの各サービス】

お問い合わせは自動車整備商工組合・協同組合まで



- ●トータルリサイクルシステムは、ネット使用しオンライン・リアルタイムの在庫を組合員様自ら検索できるシステムです。
- ●インターネットにつながる端末(パソコン・タブレットなど)とメールがあれば簡単にご利用になれます。(ブラウザー使用の簡単・便利なシステムです)

#### 新規会員登録はこちら (無料)

WEBまたはFAXどちらでも登録申請可能です。

詳しくはTRSホームページをご覧ください。





PCを使って ラクラク検索

TRSは小売価格表示機能が付いておりますので、たとえばタブレット端末を利用して、直接ユーザー様にリサイクル部品の案内が可能です。